

名古屋市の維持向上すべき歴史的風致

計画期間 平成26年度
～平成35年度

①名古屋城と名古屋城下町を舞台に展開した祭礼に見られる歴史的風致

江戸時代、名古屋城下では山車などが出される祭りが華やかに行われていました。主要な祭りであった東照宮祭、三之九天王祭（現・那古野神社祭礼）、若宮祭は、現在も本町通周辺で、那古野神社・若宮八幡社の社殿や料亭河文（登録有形文化財）等の歴史的建造物を背景に続けられています。
また、筒井・出来町（東区）や堀川にほど近い広井（中村区）にも多くの山車が残されています。



那古野神社祭礼

④堀川・四間道界隈に見られる歴史的風致

名古屋城と城下町の建設にあわせて開削された堀川の舟運は、名古屋の発展に大きく貢献しました。堀川沿いに形成された町である四間道界隈では、今でも蔵の立ち並ぶ景観や昔ながらの路地を背景に屋根神信仰、地藏盆、浅間神社の祭りなどが行われ、下町情緒を醸し出しています。



四間道界隈の屋根神

②熱田神宮等に見られる歴史的風致

熱田神宮等では、様々な伝統行事が続けられています。熱田祭（例祭）に出される献灯まきわらは、かつて熱田の人々によって出された山車に由来するものです。また、市内には、熱田神宮ゆかりの古墳や神社が多く、断夫山古墳では御陵墓祭が、氷上姉子神社に隣接する大高斎田では熱田神宮へ奉納する稲を植える御田植祭が行われています。



熱田祭（献灯まきわら）

名古屋は、古くは地方勢力の拠点として、江戸時代は御三家筆頭である尾張徳川家の城下町として、また近代以降は我が国における経済産業の一大拠点として発展してきました。

こうした歴史を背景に、名古屋市内には、名古屋城下町を中心に行われてきた山車祭りや熱田神宮の伝統行事、街道や城下町の周辺地域で独自に発展してきた祭り、近代化や戦災復興の中で始まった営みなどが歴史的建造物とともに残され、歴史的風致を形成しています。

③尾張氏ゆかりの地、志段味に見られる歴史的風致



尾張戸神社の茅の輪ぐり

上志段味地区には、市内最古の大型前方後円墳である白鳥塚古墳をはじめ、多くの古墳が残されており、古代に活躍した尾張氏のルーツの地と考えられています。古墳の上に建立された尾張戸神社や勝手社では、茅の輪ぐりなどの伝統行事が行われ、地域の歴史を感じることができます。

⑤街道や城下町の周辺地域等に見られる歴史的風致



有松の町並みと山車祭り

有松では、東海道の歴史的な町並みを背景に山車祭りが行われ、美しい歴史的風致を形成しています。
尾張四観音として、人々に親しまれている荒子観音、龍泉寺、笠寺観音、甚目寺（あま市）には、今も節分の行事とともに恵方参りの風習が残り多くの人が訪れます。

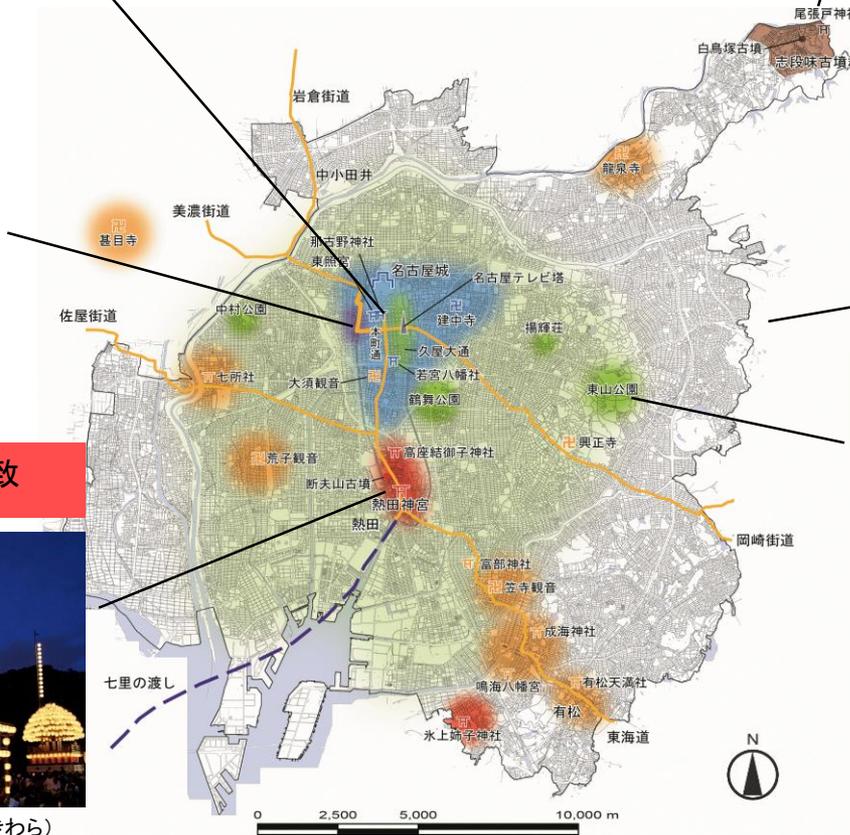
⑥大都市名古屋の発展過程に見られる歴史的風致

明治時代以降、名古屋は産業発展を遂げ、港・道路・運河などが整備されました。鶴舞公園などの大公園もつくられ、市民の憩いの場として歴史を重ねてきました。財界人の別荘としてつくられた揚輝荘も当時の文化を現代に伝えています。



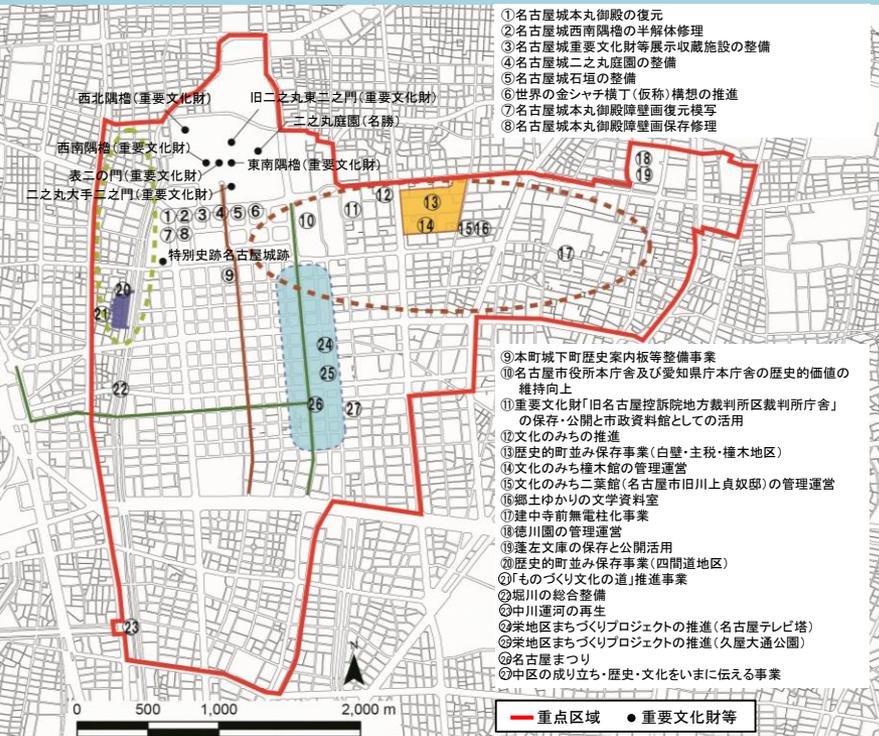
名古屋まつり

戦災からの復興を契機に始まった名古屋まつりは、広幅員の道路や名古屋テレビ塔などを背景に、半世紀以上にわたって開催され、名古屋が誇れる歴史として、市民に根付いています。



名古屋市重点区域における事業の概要

名古屋城周辺地区(約1,040ha)



①名古屋城本丸御殿の復元

戦災で昭和20年に焼失した名古屋城本丸御殿を史実に基づき忠実に復元。第1期公開(玄関・表書院)、第2期公開(対面所・下御膳所)を経て、上洛殿、湯殿書院等の完成により平成30年6月に全体公開を迎えた。



復元された本丸御殿玄関

⑫文化のみちの推進

名古屋城から徳川園に至る一帯を「文化のみち」として育み、「文化のみち二葉館」「文化のみち榎木館」の管理運営や、旧豊田佐助邸・旧春田鉄次郎邸などを活用した各種展示や催しを行い、貴重な建築遺産の保存活用を進める。



文化のみち二葉館

⑨本町城下町歴史案内板等整備事業

名古屋城本丸御殿の復元にあわせ、名古屋城への来訪者を「本町城下町エリア」に引き出すため、歴史を紹介する案内板や山車の模型、名古屋城から本町門へのアプローチの整備などを行う。



山車の模型イメージ

⑩名古屋市役所本庁舎及び愛知県庁本庁舎の歴史的価値の維持向上

帝冠様式の近代建築として重要文化財に指定(平成26年12月)された市役所本庁舎・県庁本庁舎について、両者の並立する景観と歴史的価値の維持向上を図るとともに庁舎の公開等を行う。



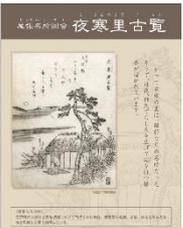
市役所本庁舎(左)と県庁本庁舎

熱田地区(約190ha)



①尾張名所図会看板の整備

熱田地区において、市民の歴史に関する関心と歴史的資源を巡る回遊性を高めるため、江戸時代の尾張地域の名勝、史跡などを絵と簡単な文章で紹介した尾張名所図会の看板を設置する。



名所図会

- ①尾張名所図会看板の整備
- ②水上交通ネットワークの検討
- ③熱田区役所における歴史資料展示

しだみ 志段味地区(約290ha)

「歴史の里」整備事業(拠点地区を中心に重点区域内各所)(古墳等の整備、全体ネットワーク化事業、公開活用事業)



「歴史の里」整備事業

貴重な文化財である史跡白鳥塚古墳をはじめとする志段味古墳群の復元整備を行うとともに、郷土の歴史・文化の学習と自然体験ができるようガイダンス機能を有する施設や案内板の整備等を行う。



史跡白鳥塚古墳